

特別展

# 千代鶴是秀

—用を極めて美に至る—

## 展示会場フォトレポート

特別展の展示を写真でご紹介します。

1階ホールが展示会場です。中央付近に千代鶴是秀の傑作を配置。三年の歳月をかけてつくりあげた突ノミ「天爵」をはじめとして、組鑿や鉋、切出小刀の名品の数々をじっくりご覧いただけます。



その周囲には、修業時代から、長男太郎の失踪など苦難の時期を経て、戦後に開花する是秀の生涯を時代をおって紹介しています。各時代を代表する作品と、是秀が詠んだ詩歌とともに辿る構成です。



後継である長男太郎やライバル石堂秀一、内弟子の秀房といった是秀ゆかりの鍛冶たちの作品を紹介するコーナーです。



大工や職人にとどまらない、多彩な文化人との交流を紹介するコーナー。是秀作品を愛用した彫刻家・朝倉文夫の木彫道具を展示しています。また、その隣には是秀晩年の作品を展示。柄が竹製のノミ、是秀が柄まで自らつくった玄能、最後の鉋「寿永」などの名品が並びます。



休憩スペースでは、是秀へのあこがれをもとに仕事に励んだ鍛冶、長谷川幸三郎が玄能をつくる映像を放映しています。



鍛冶の名工・千代鶴是秀の作品が全国から一堂に集まったまたとない展覧会です。展示期間はあとわずかです。是非、ご来場ください。

